

小説

『猫の耳に甘い唄を』

倉知 淳 著

冷泉彰成は知名度も代表作もなしの全く売れていないミステリー作家。作家志望の弟子に創作テクを仕込みながら、業界の隅にかじり付きどうにか食い繋いでいた。そんな折、二通の手紙が届く。一通はファンレター、もう一通は悪趣味な怪文書。悪戯だろう捨て置いた冷泉に殺人の容疑が……。

趣味 実用

『愛のモヤモヤ相談室』

美輪 明宏 著

どんなときも問題に向き合うために必要なのは感情より理性——。愛と美の伝道師・美輪明宏の時に厳しく、そして励ましのような唯一無二の深い優しさが、生死や孤独、後ろめたさや妬みなど、悩めるあなたの心にすうーっと溶け込む。テレビの人気お悩み相談番組を書籍化した金言集。

小説

『普通の子』

朝比奈 あすか 著

成績も平均的。口答えもそれほどしない、ごくごく普通の小学5年生だと思っていた晴翔の何かがおかしい。母親の美保は、学校への行き渋りや表情、言動などわが子の変化が気になっていた。そんな矢先、晴翔が教室のベランダから転落し骨折する。いじめを疑い真相を探る内、ある記憶が蘇る。

趣味 実用

『あの世でも仲良う暮らそうや』

信友 直子 著

認知症になった母。献身的に介護する父——両親の老老介護の様子を娘が記録した大ヒットドキュメンタリー映画「ぼけますから、よろしくお願いします」。母を看取り、広島でひとりで暮らす 104 歳を迎えた父・良則さんのその後とは。愛に溢れた“ええ男”の珠玉の言葉が胸を打つ。

小説

『歪曲済アイラービュ』

住野 よる 著

“お前ら愛する人に気持ちは伝えたかい？”——底辺 YouTuber こなるんが生配信で予告したのは世界の滅亡?! 世界の終末を示唆する「他人には見えない不思議なもの」が見え始めた者たちは、なりふり構わず最後の行動に出る。驚きと企みが怒濤の如く押し寄せるノンストップエンタメ。

趣味 実用

『ロールモデルがない君へ』

キリーロバ・ナージャ 著

今当たり前になっていることも、いつか誰かがファーストペンギンになって切り開いてきた道。唯一ランドセルがなかったハーフや在日韓国人を両親に持つ女性など様々なルーツを持ち、それぞれの「茨の道」を歩んできた 12 人が、自ら半生を余すところなく語り、次世代へエールを贈る 1 冊。

小説

『行成想歌』

佐藤 雫 著

関白・藤原道隆亡き後、殺伐としている内裏において、帝の側近である蔵人頭に任じられた藤原行成。けっして器用とは言い難く、喜びよりも不安の方が大きい行成だったが、感情の自制と苦悩に満ちた一条天皇の姿を目の当たりにし……。大河ドラマ「光る君へ」でも注目を浴びた藤原行成の視点。

趣味 実用

『僕は猛禽類のお医者さん』

齋藤 慶輔 著

野生猛禽類の保護や治療、死因究明や事故予防など、保全医学をテーマに行う獣医療機関・猛禽類医学研究所。釧路を拠点に人の活動によって傷つけられたオオワシやオジロワシ、シマフクロウなど希少猛禽類を救うべく今日も所員たちは奔走する。いのちをつなぐ研究所の直向きな日々を綴る。

小説

『台湾漫遊鉄道のふたり』

楊 双子 著

売れっ子作家の青山千鶴子は、結婚話から逃れるように台湾へ巡回講演へやって来た。そこで台湾人通訳・千鶴と出会う。食に対し強い愛着を持つふたりは“秘めた傷”をお供に、美食の台湾縦貫鉄道の旅に出る。抑圧されてきた日本統治下の台湾を舞台に、実在の人物にインスパイアされた愛の物語。

趣味 実用

『なぜ、ああなたの料理は』

ちょっとマズイのか?』

小田 真規子 著

不味いのは理論を伴わない常識のせいだった?! 「レシピ通りやってるのに」「洗うだけのグリーンサラダのどこに改善の余地が?」料理好きなのに何を作っても 60 点の編集者が超基本から学ぶ。正しい調理法でいつもの料理がグレードアップします。